

■ 令和元年度 区政懇談会（江南小学校区）

日 時：令和元年5月19日（日）

13:00～14:30

会 場：石山南まちづくりセンター



（発 言）

日頃、地域の環境整備にお骨折りいただき大変感謝申し上げたい。越後石山駅の橋上化の促進は地域住民としては、永年にわたっての悲願であり、一日も早い実現をお願いしたい。

国の指針としても2020年までに4,000人以上の乗降客がある駅についてバリアフリー化を進めるという基本方針をとっていると聞いているが、間に合わないのではないかと思う。2017年度は予備設計で調査をしていただいたが、今後のスケジュール等について、ご回答をお願いしたい。

1番目に西口広場へのアクセス道路は、まだ入り口辺りに1件、支障物件があり、完成していないが、いつ頃完成できるか。

2番目に、橋上化は東口広場の整備と一体的に進めると平成30年9月4日に説明をいただいた。しかしこのプランどおり東口広場の整備となると、家屋や店が密集しており、財源計画、地元調整なども相当の期間が必要になってくるが、東口整備の今後のスケジュールについてお聞かせいただきたい。

東口整備が終わってから橋上化の工事に入るという基本的なお考えのようであるが、同時施工ないしは橋上化工事を先行することも必要ではないのか。

平成30年度は予備設計で、予備設計が終わると基本設計に移り、実施設計に移るのが普通の段階であるが、令和元年度はどのように予算計上されているのか。

先ほど申し上げたように一日も早い完成を地元として要望しているが、少しでも前進させるために、地元としてどのような対応をしていったら促進できるかということについてもご教授いただきたい。

（回 答）

西口広場のアクセス道路は、用地の交渉が非常に難航しているが、引き続き粘り強く交渉を進め、ご協力が得られ次第、交差点改良を含めた工事に着手し、全線開通を目指したいと思っている。

東口広場は、平成30年の説明会でもお話ししたが、駅舎の橋上化と一体的に整備を進める

こととしている。事業期間、設計内容や用地取得状況にもよるが10年程度は必要だと考えている。

施工方法は、今後JRとの協議・調整によるが、東口広場の用地取得を先行し、橋上化工事の作業ヤードを確保した上で進めていくのが効率的だと考えている。

令和元年度の予定では、JR越後石山駅の利用状況や地元の熱意、これまでの検討経過を踏まえ、現在バリアフリー化の事業を進めているJR小針駅の事業完了後、令和元年度の事業化を要望していたが、今現在の市の財政状況を勘案すると現時点での事業化は大変難しくなっている。地域の皆様とまとめた東口広場の予備設計の成果を基に、駅舎の橋上化や地域の魅力づくり事業などのソフト事業を含めた検討を継続して行い、早期事業化とスムーズな工事着手に向けて、関係機関とより具体的な協議・調整を進めていきたいと考えている。本庁の道路計画課では、令和元年度から駅のバリアフリー化に向けた全市的な事業方針を石山駅のほか、どういふ順番でやっていくかということを検討に入るといふことで聞いている。

平成24年度より要望いただいております、地域から熱望されている事業であることは十分承知している。引き続き、地域の皆様と勉強会を開催して駅前広場や橋上化、橋上駅舎といったハード面だけではなく、石山地域の魅力向上につながるソフト面のまちづくりについても一緒に考えていけたらと思っている。

(発 言)

東口の整備が終わってから橋上化を進めるという話であるが、10年なんていうスパンではなくて、もっとかかるのではないかと。店舗の移転に伴う、用地買収等が出てくる。なんとか橋上化と東口を同時施工し、ないしは西口を使って橋上化を先行するということはできないのか。

(回 答)

ある程度の用地取得を先行して作業ヤードを確保したほうが効率的ではないのかということ、必ずこの順番で行うということではなく、一体的に進めていくということである。

(発 言)

一体的にということとは東口の整備と橋上化を同時施工することもあり得るといふお考えなのか。

(回 答)

まず、東口の広場の用地買収を行い、そこを橋上化の作業ヤードとして使うことを考えてい

る。橋上化を先に行い、それが終わり次第、東口駅前の施工という流れで考えている。

(発 言)

東口広場は、現在の広場では足りないということか。前提は東口広場の用地が確保されてからというお考えなのか。

(回 答)

現在ある東口広場となっている範囲では作業ヤードとして足りないと考えている。

(発 言)

西口から重機を入れてアームを伸ばしてという操作で技術的にはできないのか。どうしても東口の用地取得をして作業エリアを確保しないとできないのか。

(回 答)

これについてもJRと今後、基本設計、また作業設計になるが、東口も作業ヤードとして使い、両側から工事を進めていったほうが大きな建設機械も入れなくて済みいいのではないかと考えている。

(発 言)

県道曾野木一日市線についても再三お願いをしているところであるが、一番の問題は石山橋の架け替えとなると思う。平成29年度には、渋滞緩和対策として標識、区画線などを設置していただいた。努力をしていただいたことは十分感謝申し上げたいと思うが、依然として東明から石山橋方面へ行く場合、右折がしづらい危険な状況になっている。できるだけ東明から旧49号線に回るように指導標識、案内標識を設置していただきたいが、その成果はどのようなになったかお聞かせいただきたい。

(回 答)

当該区間の渋滞緩和は、平成28年度の区政懇談会において要望を受けており、区としては石山橋付近の交通量調査を実施し、平成29年度には交通の分散を図るための誘導案内板を4か所設置しているところである。

誘導案内板の設置による交通の変化は、効果検証を兼ねた交通量調査を令和元年度中に実施

したいと考えている。

また、抜本的な対策となる石山橋を含めた曾野木一日市線の拡幅は事業規模が非常に大きく、実施にあたっては多額の費用と期間を要するため、当面の対策は、交通の分散化と信号現示の変更による交通の円滑化を、検討していきたい。

交通量調査及び渋滞対策の検討結果がまとまった段階で、地域の皆様にお示ししたいと考えている。

(発 言)

平成30年の10月頃交通量調査を行って評価をしたいというお話もお聞きしたが、平成30年度中に結果が出ていないということなのか。

(回 答)

数値的なものの把握はこれからである。

(発 言)

これについても一層ご尽力いただきたい。

(発 言)

**大石排水路**について平成30年度も同じような質問をさせていただき、市としては栗ノ木川の合流部分のゴミの撤去を実施することと水質調査を実施することと、上流で水質のいい水を入れて、対策したいということが平成30年度の回答だったと記憶している。

平成30年の10月頃に調査している業者から、結果によっては何らかの水質対策を講ずることも市では検討しているようだというお話を聞いた。市の下水道課が担当ということも承知しているが、調査結果と対策を教えてほしい。

(回 答)

大石排水路の水質は例年、意見をいただいている。私も先日、現地に行き状況は確認している。

水質は、市の環境対策課が鳥屋野潟への汚濁負荷量を把握することを目的として大石排水路を含む合計11の排水路で4月、7月、11月、1月の年4回水質調査を実施し、市のホームページでも結果を公表している。

平成30年度の調査結果を確認したところ、大石排水路の水質は河川の汚濁評価で使用される生物化学的酸素要求量の数値であるBODとしては1.3から2.5で、栗ノ木川の評価基準であるBOD5.0を下回っているとなっている。

浄化用水を増やすことは、阿賀野川からの年間取水量が決まっていることと、鳥屋野潟への流入量の増加により水位上昇を招くこと、もともと高低差の少ない地形であることから、一定の流れを作るには、相当量の水を入れないと流れができないということから、現時点ではなかなか難しいと考えている。

しかし、少しでも環境改善につながるよう、下水道管理センターで栗ノ木川との合流地点のごみ回収の回数を平成30年度から11回に増やしたところであるが、令和元年度はさらに回数を増やして12回、回収するということである。

抜本的な対策は、なかなか難しい面があり、市の関係部署とも協議しながら、皆様と一緒に課題の解決を検討していければと思っており、引き続き状況について検討させていただきたい。

(発 言)

栗ノ木川護岸の腐食している矢板を修繕してほしいと昨年要望を出し、少し修繕されている状況も見受けられる。

また、護岸道路が川側に引き込まれ、舗装に亀裂があり、電柱がだいぶ傾いて危険なため、東北電力に頼み河川敷地外に出してもらった経緯がある。

県の地域振興局の担当であるので、町内会からも要望を行っているが、市からも、定期的に引き続き要望していただきたい。

(回 答)

4月23日に河川管理者である新潟地域整備部に行き、状況説明と対応の依頼をした。

県から今後の対応について回答いただき、その内容として矢板の護岸が経年劣化により損傷が複数箇所あることや護岸道路の亀裂は県でも現地調査で認識しているが、一度に全箇所の対応が難しいため、緊急性や優先度を考慮しながら県では修繕していこうということである。また、護岸道路の亀裂は今後も経過観察をしていくという回答であった。

今後も皆様からの意見・要望は現地確認をしていきながら、また状況を聞かせていただきたいと思います。私どもも毎年7月に地域振興局との意見交換会を行っており、その場で県にお話ししていきたいと考えている。

(発 言)

2018年に陳情した江南5丁目江南小学校周辺の歩道及び各不備箇所の修繕・補修を行っていただき感謝申し上げます。令和元年度においても平成30年度に陳情した不備箇所の中で、未修繕箇所、また令和元年度新たに見られた危険箇所の修繕・補修において陳情したい。

すでに提出している陳情書の中で、**江南小学校周辺の歩道及びその周辺の修繕**に関して内容を記載している。特に、低学年児童の安全な登下校を実現するためにも出来る限り早い段階での歩道補修をお願いしたい。

(回 答)

いただいたお話の中は9箇所あったと思うが、その中の⑥番目の「南紫竹江南線と東6-23号線の交差点から江南5丁目側の歩道整備」、これは長い道路になっているが、これは平成30年10月4日に江南小学校区コミュニティ協議会の要望にお答えしたとおり、すでにいただいているほかの歩道整備箇所があることから、整備の順番を地域のコミュニティ協議会で決めていただければと思っている。

それ以外の①から⑤まで、そして⑦から⑨までの「歩道の段差補修などの部分的な補修」は、現地立ち会いのうえで対応させていただきたい。

→ ①から⑤まで、そして⑦から⑨までの部分的な補修については、7月末に完了

(発 言)

平成30年度から石山地下道の防犯カメラ設置について要望を出しているが、残念ながら実現に至っていない。中野山小学校区のコミュニティ協議会で少し動きがあるようであるが、またお願いしたいと思う。

先般4月に行われた防犯カメラ設置補助の説明会に私も参加したが、そのときに小学校の通学路の地下歩道においてはカメラ設置をするというお返事があったかと思うが、中学校は通学路を指定していないため中学生が通学する道路は設置をしないという話だった。しかし、石山中学校では踏切を通らずに必ず地下道を通して中学校に通うようにと指導しており、地下歩道は通学路になるだろうと考えている。1月4日にも女子生徒が地下歩道から石山かしわ公園まであとをつけられ、散歩をしている方に助けを求めたという事案も発生している。岡山地内では5月に女子高校生が切りつけられる事件も発生している。

現在、小学校の下校時間には見守りの方がたくさんいて安全を確保している。中・高生が帰るときは見守りの方はおらず、暗くなっている。石山地下道に防犯カメラを設置していただき、

少しでも生徒の安全を確保していただきたい。

(回 答)

これまで市では防犯カメラ設置は行ってこなかったが、令和元年度は全市的な対応として防犯カメラの設置要望箇所のうち、小学校の通学路で地下横断歩道など、外部より見通しが悪く、密室的要素のある施設であることを条件に、国の交付金を活用し防犯カメラを設置している。

区では、小学校の通学路で、規模が非常に大きく、地元の対応では難しい新潟港横越線（赤道）の石山地下道東側の歩道に、防犯カメラを4台設置する予定である。こちらは非常に規模が大きく、なかなか地元では対応できない長さになっている。

それ以外の場所は、西区の事件を受け令和元年度から3年間限定で補助率を2分の1から6分の5に拡充した「防犯カメラ整備補助金」の助成制度を利用し、地域で防犯カメラ設置を検討いただければと思う。

(発 言)

中学生は決して性犯罪にあわないわけではない。中学生のほうが逆に危ないと私は考えるが、いかがか。

(回 答)

おっしゃるように小学生だから、中学生だからというところで片付けられない問題もあると思う。今回の補助金の6分の5の拡充についても、西区の事件があったことから子どもたちの目から見て危ない箇所を見て点検し、3年間限定で補助制度を作った。中学生も犯罪に巻き込まれる可能性があることは十分わかっているが、今回事件が起きた小学生のほうからまずということ考えている。

(発 言)

防犯カメラ購入に係る補助金は6分の5出るが、管理費は自治会負担してほしいという説明だった。自治会で相談したが、補助金をいただいて設置したところで、管理費を出すのは非常に難しいという話になった。石山の地下道だけは特殊なため、現地調査を行い、なんとか実現できるような方向づけで努力していただきたい。

説明会では、ランニングコストの細かな話は無かった。管理費や電気代を計算すると高額になる。本当に必要な箇所なため、頑張ってください。

(発 言)

先ほどJR越後石山駅の話が出てきたが、西口道路の用地買収が進まないのは、ある市議会議員の先生が、まだ計画が公表されていない時に自分の後援会で、西口道路の計画の話をし、たまたま、そこに支障物件の住人がいたため、そんな話は聞いていないと現在も反対されている。市議会議員の先生が住民のブレーキとならないようお願いしたい。

(発 言)

1～2年前に、小学校の周りの歩道より先に江南1丁目から3丁目までの歩道が一気にきれいになったため、建設課へ行って理由を聞くと、1丁目から3丁目までは要望があったが、4丁目以降は要望がなかったという説明だった。

小学生が多く通る道路が最優先となるのではないかと。要望だけでなく、プロの目で見て優先順位をつけていただきたい。

また、今後歩道の整備は順次行っていくと思うが車椅子やベビーカーが通りやすいように整備してほしい。

(回 答)

地域からさまざまなところから要望が出ているが、学校の周辺ももちろん大事なので、緊急性などを考えながら判断していきたい。

(回 答)

昨年10月4日にコミュニティ協議会からいくつかの場所をまとめて要望された経緯があり、予算が限られているので地域で順番をつけてくださいとお願いをした。以前から要望をいただいている箇所に対して、区の判断で後回しにすることは難しいため、地域の皆さんにお願いをしている。しかし、本当に危ない箇所については、職員が立ち会い、確認した後に優先的に施工させていただいている。

(発 言)

大石排水路の水質の件についてだが、説明の中で、BODは水質基準以下であるから問題はないという回答をいただいたが、見た目が茶色で非常に汚いという印象を持っている。本所排水路は、いつも滔々(とうとう)と水が流れており、見た目も非常にきれいである。



昨年、亀田郷土地改良区と話し合いをして、流量を増やしてほしいという願いをした。

今日の説明の中に、阿賀野川から取水する水の制限があるため、なかなか簡単に流せないという話があったが、本所排水路はどんどん流れている。大石排水路は先ほどお話があったように高低差がないため、ポンプで送り出さないと栗ノ木川まで大石排水路を通して水が流れていない。逆に本所排水路脇にポンプゲートがある。ポンプゲートは通常は締め切っているが、必要な時に開けてポンプで水を下流に流す、大石排水路に流すというシステムだが、その回数をもう少し増やすとか、あるいは本所排水路の取水の量を少なくし、そちらの大石排水路に回すことも考えられるのではないかと、素人なりに考える。

亀田郷との話し合いもしながら柔軟にさまざまな人の知恵を借りながら、ぜひ再度、改善に向けてご検討いただければと思う。回答は不要、意見として申し上げた。

(発 言)

角張っている縁石を使っているバリアフリーの道路は必ず水が溜まっている。歩道を歩いて、横断したときに、その水溜まりを跨がなければ歩道に出られない状態である。私の町内もバリアフリーで道路を直したときに、やはり水が溜まった。ちゃんと水の溜まらないバリアフリー工事をやってもらいたい。場所を確認し、対処するようにお願いしたい。

(回 答)

お話の場所をもう一回教えていただき、確認して対応していきたい。

→6月6日に現地で要望内容の状況を確認済。

平成28年度の施工受注業者と対処方法について調整中。